

## 2. 開催概要

### 1) 関東「野生生物と共存する生物多様性豊かな森づくり」

◆日時 シンポジウム：9月9日(金) / 森林見学ツアー：9月10日(土)

◆場所 シンポジウム：AP品川(B+C会議室) / 森林見学ツアー：東京都西多摩郡奥多摩町

#### ◆概要

##### 【基調講演】

森林施業や開発などにおける希少生物との共存手法の研究で著名な、岩手県立大学名誉教授の由井正敏先生をお迎えし、野生生物と共生できる森づくりについてご講演頂きました。

##### 【事例発表】

森林施業や保全活動において、野生生物との共存は大きなテーマです。東京都の奥多摩地域では、ニホンジカにより植物が食い尽くされ、裸地化し、土砂流失した所があります。人工林を伐採後、シカ被害のため、放置された林地もあります。そのような林地でシカとの共存を図りつつ、在来種による母樹林を目指した新たな森づくりの取り組みを、森林所有者、森林ボランティア団体 奥多摩・山しごとの会、(公財)東京都農林総合研究センターが協力し、試験的に行っている事例をご紹介します。

◆基調講演：「野鳥と林業との共存を図る」岩手県立大学名誉教授 由井正敏氏

◆事例発表：1. 「ボランティアによる新しい森づくり」奥多摩・山しごとの会 小井沼勉氏  
2. 「東京のシカと森林」(公財)東京都農林総合研究センター 新井一司氏

### 2) 北海道「北海道の民有林管理と身近な流域生態系」

◆日時 シンポジウム：9月16日(金) / 森林見学ツアー：9月17日(土)

◆場所 シンポジウム：道特会館(2階大会議室) / 森林見学ツアー：北海道苫小牧市(王子製紙の森林)

#### ◆概要

##### 【基調講演】

東京大学名誉教授、元北海道演習林長の梶幹男氏からは環境と調和した木材生産に関するご講演をして頂きました。

##### 【事例発表】

王子製紙は全国で民間最大面積の19万haの森林を所有し、森林認証SGECを取得するなど、持続可能な森林経営に取り組み、生物多様性に配慮した森林管理・木材生産を行っています。また様似町にあるアポイ岳ではアポイ岳再生委員会が高山植物再生に、猿払村では猿払イトウ保全協議会が稀少魚類イトウの保全に取り組んでおり、王子製紙も協働参加しています。河川も含めた森林の上流部から下流まで、身近な流域生態系の保全活動についてご紹介頂きました。

◆基調講演：「持続的木材生産と環境保全の調和を目指して—東京大学北海道演習林の半世紀余の歩み—」  
東京大学名誉教授 梶幹男氏

◆事例発表：1. 「王子製紙グループの社有林と生物多様性の保全活動」  
王子製紙株式会社 辻本篤郎氏  
2. 「アポイ岳高山植物再生の取り組み」  
アポイ岳再生委員会(様似町) 水野洋一氏  
3. 「猿払イトウ保全協議会の取り組み」  
猿払イトウ保全協議会 小山内浩一氏

## 2. 開催概要

### 3) 中部「COP10から未来へ！持続可能な林業と生物多様性」

- ◆日時 シンポジウム：10月7日（金） / 森林見学ツアー：10月8日（土）
- ◆場所 シンポジウム：名古屋サンスカイルーム（E室） / 森林見学ツアー：岐阜県中津川市加子母
- ◆概要

#### 【基調講演】

名古屋市立大学の香坂玲氏に、COP10以降の生物多様性条約の動向や、森林の利用と生物多様性の保全について海外の事例も含めご講演頂きました。

#### 【事例発表】

岐阜県加子母森林組合は、ヒノキの地域ブランドとして有名な「東濃桧」の産地にあります。四世代複層林整備や住宅の産地直販を進めるなど、生物多様性を保全しながら、持続的な林業に取り組んでいる事例をご紹介頂きました。またグリーンフロント研究所からは、生物多様性保全のための市民環境調査活動についてご紹介頂きました。

- ◆基調講演：「森と文化を考える～森林の保全と持続可能な利用と生物多様性」  
名古屋市立大学准教授 香坂玲氏
- ◆事例発表：1. 「地域林業の振興と生物多様性の森林づくり」加子母森林組合代表理事 内木篤志氏  
2. 「市民環境調査と生物多様性保全を結びつけるために必要なものは？」  
グリーンフロント研究所株式会社 小串重治氏

### 4) 関西「地域と企業の協働による森林保全と地域材の活用」

- ◆日時 シンポジウム：10月21日（金） / 森林見学ツアー：10月22日（土）
- ◆場所 シンポジウム：CIVI北梅田研修センター(506) / 森林見学ツアー：大阪府河内長野市
- ◆概要

#### 【基調講演】

名古屋大学大学院の夏原由博氏に、様々な生物とその生息環境でもある都市部や里山などの生態系における生物多様性についてご講演頂きました。

#### 【事例発表】

大阪府では、企業等の事業者と森林所有者の仲介役となり、地元市町村も加えた「4者協定」を結び、管理ができなくなった森林の保全を進める「アドプトフォレスト制度」を実施しています。河内長野市には、市民協働による森林づくりの取り組みを、また本制度に事業者として参加しているタカシマヤ“一粒のぶどう基金”大阪支局には、河内長野市内の栗畑の跡地で進めている、森林再生活動や木材活用の取り組みをご紹介頂きました。

- ◆基調講演：「生物多様性が豊かな里山は美しい」  
名古屋大学大学院 教授 夏原由博氏
- ◆事例発表：1. 「市民協働による森林づくり」  
河内長野市 福田信行氏  
2. 「タカシマヤ一粒のぶどう基金大阪支局と大阪芸術大学の連携による森林保護活動と地域材の活用」  
タカシマヤ一粒のぶどう基金大阪支局 明日香隆氏、木下祐介氏

## 2. 開催概要

### 5) 九州「市民が守り育てる地域の里山生態系」

◆日時 シンポジウム：10月28日（金） / 森林見学ツアー：10月29日（土）

◆場所 シンポジウム：福岡交通センター(3・4ホール) / 森林見学ツアー：福岡市油山自然観察の森

#### ◆概要

##### 【基調講演】

福岡教育大学の唐沢重考氏からは森林環境の縁の下の力持ちといってもよい、土の中の生物（土壌動物）と、人工林と生物多様性についてご講演頂きました。

##### 【事例発表】

福岡市にある油山市民の森では環境ボランティアの「森を育てる会」が取り組む、様々ないきものが暮らせる雑木林やアカマツ林の自然環境を復元する活動をご紹介頂きました。また九州大学移転地において、「NPO 法人福岡グリーンヘルパーの会」が取り組んでいる生物多様性保全活動についてご紹介頂きました。

◆基調講演：「足の下生物多様性－森林と土壌動物の世界－」

福岡教育大学准教授 唐沢重考氏

◆事例発表：1. 「森への扉」

油山自然観察の森 森を育てる会 鎌田隆氏

2. 「里山の生物多様性への取り組み」

NPO法人福岡グリーンヘルパーの会 平野照実氏

## プログラム（各会場共通）

### ◆シンポジウム（13：30～17：20）

- ・開会のご挨拶
- ・「生物多様性に今、何が起きているのか」  
Value Frontier株式会社 鈴木弘之
- ・「森林の生物多様性動向と林野庁の取り組み」  
林野庁 林健二氏（関東）／武田祐介氏（北海道）／小暮甲吉氏（関西）／茂野潤氏（九州）
- ・基調講演
- ・事例発表
- ・パネルディスカッション
- ・質疑応答・まとめ

### ◆森林見学ツアー（9：00～17：30）

- ・集合・バスで移動
- ・見学ツアー開始（森林の紹介、活動内容の解説、質疑応答、関連施設見学など）
- ・昼食
- ・見学ツアー終了・バスで移動
- ・解散

\*森林見学ツアーの行程は各回で異なります。詳細は各会場の「森林見学ツアー報告」をご覧ください。